

2023年12月12日
JR東日本スタートアップ株式会社
株式会社 Agnavi
株式会社 JR東日本商事
東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社

日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」×JR東日本グループで地域共創！
伊豆・熱海観光キャンペーンに合わせて
「サフィール踊り子」「E233系」「185系」をデザインした
神奈川・静岡の銘酒「ICHI-GO-CAN®」を数量限定発売

2023年12月19日（火）より発売開始

- JR東日本のグループ会社でスタートアップ企業への出資や協業を推進するJR東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田 裕）と、同社が実施する「JR東日本スタートアッププログラム2023春」の採択企業で日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を展開する株式会社 Agnavi（代表取締役 CEO：玄 成秀）は、株式会社 JR東日本商事（代表取締役社長：井上 晋一）、東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社（執行役員 横浜支社長：宮田 久嗣）と連携し、12月より開始している伊豆・熱海観光キャンペーン「いいコト、いいフォト、伊豆・熱海 旅に飛び出せ！」に合わせて、神奈川県の蔵元「熊澤酒造」、静岡県の蔵元「花の舞酒造」と連携した「ICHI-GO-CAN®」を数量限定で発売します。
- 「ICHI-GO-CAN®」のデザインは、JR東日本が保有する「サフィール踊り子」「E233系」「185系」の車両をモチーフにした3種類を展開します。
- 地域の銘酒を「ICHI-GO-CAN®」として市場に流通させ、日本酒の美味しさや魅力を発信していきます。また、「ICHI-GO-CAN®」を通じて日本酒のファンづくりに努め、酒蔵や地域との接点を創出し、地域活性化に繋げていきます。



JR東日本商品化許諾済

【発売概要】

- 商品名：「純米吟醸 JR東日本 サフィール踊り子 一合缶」
「純米吟醸 JR東日本 E233系 一合缶」
「純米吟醸 JR東日本 185系 一合缶」
- デザイン：サフィール踊り子（E261系）、E233系、185系の3種類
- 生産蔵元：熊澤酒造（茅ヶ崎市）、花の舞酒造（浜松市）
- 発売日時：2023年12月19日（火）より順次発売開始
- 希望小売価格：各種類 605円（税込）

■発売箇所：

駅名	店舗名
横浜駅	NewDays 横浜北口、NewDays 横浜南口、NewDays シアル横浜
川崎駅	NewDays 川崎
戸塚駅	NewDays 戸塚
大船駅	NewDays 大船北口
藤沢駅	NewDays 藤沢
茅ヶ崎駅	NewDays 茅ヶ崎
熱海駅	NewDays 熱海、みやげやサンクス熱海
伊東駅	NewDays ミニ伊東1号 ※
東京駅	TRAINIART（トレニアート） TOKYO グランスタ店
大宮駅	ミュージアムショップ TRAINIART（トレニアート） 鉄道博物館店

※NewDays ミニ 伊東1号のみ 2023年12月17日（日）より先行発売・185系のみのお取扱いとなります。

（EC サイト）

■TRAINIART（トレニアート） JRE MALL 店：<https://www.jreastmall.com/shop/c/c01/>

■ICHI-GO-CAN®公式オンラインショップ：<https://ichi-go-can.jp/>

※限定生産のため、商品が無くなり次第発売終了となります。

※企画内容や発売開始時期等に変更となる場合があります。

※価格は発売箇所によって異なる場合がございます。

※画像はイメージです。

【デザインに使用する車両について】

■サフィール踊り子（E261系）

東京都心と伊豆をつなぐ特急車両で、2020年3月から運行しています。サフィールは「サファイヤ」を意味するフランス語で、宝石のサファイヤのように美しい伊豆の海と空をイメージさせ、上質・高級で優雅な旅を楽しんでもらいたいという願いから名付けられました。フォルムには特急列車らしい疾走感があり、外装も青く輝くサファイヤブルーを基調としています。

8両編成で全車両グリーン席であるほか、4号車は有名シェフ監修の限定メニューを味わえるカフェテリアとなっています。



■E233系について

E233系は2006年から首都圏の通勤列車を中心に運行しており、優先席エリアの明確化や、優先席部分の荷棚および吊り手の高さを低くする等、ユニバーサルデザインを多く採用している車両です。また空気清浄機の設置、液晶画面やフルカラーLEDによる情報案内の充実等、お客さまへのアンケートやインタビューに基づくお客さまニーズを反映した車内構造となっています。今回展開するデザインは、国鉄時代から「湘南電車」として親しまれてきたオレンジと緑のカラーリングです。



■185系について

185系は1981年から運行している車両で、特急列車かつ通勤列車にも使用可能な新型車両として特急・急行・普通など様々な列車に使用されました。JR発足後は、特急「踊り子」や「湘南ライナー」を中心に運行していましたが、2021年に定期運行を終了しました。現在は臨時列車に多く使用されています。



【JR東日本スタートアッププログラムについて】

■プログラムの概要

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017年度に初めて開催し、今回までに合計120件の提案を採択。鉄道事業やIT事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の2018年度第1回日本オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞、2020年度第3回同賞において、環境大臣賞を受賞しました。

■Agnaviについて

「JR東日本スタートアッププログラム2023春」の採択企業であり、日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を運営し「日本酒を世界に広める」ことをミッションに掲げるベンチャー企業です。日本酒業界のゲームチェンジャーとなり、様々な日本酒をワンストップでお届けできる商流の構築を目指しています。全国の蔵元にOB・OGを6割以上輩出する東京農業大学在学中に現在の代表取締役の玄成秀が事業を開始し、2年で全国80の蔵元との協業にその輪は広がり、展開する銘柄は130種類以上に到達しました。北米・南米・東南アジア・ヨーロッパなど海外への輸出を行っています。

■ICHI-GO-CAN®について

日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」は、日本酒の消費量の減少が著しい現代、日本酒の容器に缶という選択肢を提供し、「適量、オシャレ、持ち運び便利」を実現した、環境にも配慮した日本酒普及の取組みです。

【各社概要】

JR東日本スタートアップ

会社名： JR東日本スタートアップ株式会社

所在地： 東京都港区高輪2-21-42

代表者： 代表取締役社長 柴田 裕

設立： 2018年2月20日

事業内容： 事業シーズや先端技術の調査・発掘、ベンチャー企業への出資及びJR東日本グループとの協業推進

URL： <https://jrestartup.co.jp/>

Agnavi

会 社 名 : 株式会社 Agnavi
所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市本村 2 丁目 2 番地 18 号
代 表 者 : 代表取締役 玄 成秀
設 立 : 2020 年 2 月 27 日
事業内容 : 日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」の展開
U R L : <https://agnavi.co.jp/>

JR 東日本商事

会 社 名 : 株式会社 JR 東日本商事
所 在 地 : 東京都渋谷区代々木 2-2-2 JR 東日本本社ビル 11F
代 表 者 : 代表取締役社長 井上 晋一
設 立 : 1988 年 9 月 13 日
事業内容 : 鉄道資材事業、ビジネスソリューション事業、コンシューマー商品事業、保険代理店事業
U R L : <https://www.ejrt.co.jp/>